

平成 27年 06月 07日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

びおハウス

グループの名称

町の工務店ネット

直近採択グループ番号

※過去に地域型ブランド化事業で採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

小池 一三

代表者印

代表者所属先

町の工務店ネット

代表者構成員番号

IX-1

代表者所在地

静岡県浜松市中区富塚町2282-17

代表者電話番号

053-476-1300

(グループ事務局)

事務局事業者名

町の工務店ネット

事務局構成員番号

IX-1

事務局担当者名

佐塚 昌則

印

事務局郵便番号

432-8002

事務局所在地

静岡県浜松市中区富塚町2282-17

事務局電話番号

053-476-1300

事務局FAX

053-476-1313

事務局担当者E-mail

sazuka@sosakujo.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	びおハウス
2. グループの名称(必須)	町の工務店ネット
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	全国
5. 結成年(必須)	2006 年
6. グループ代表者名(必須)	小池 一三
7. グループ代表者の所属先(必須)	町の工務店ネット
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	IX-1
9. グループ代表者所在地(必須)	静岡県浜松市中区富塚町2282-17
10. グループ代表者電話番号(必須)	053-476-1300
11. グループ事務局事業者名(必須)	町の工務店ネット
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	IX-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	佐塚 昌則
14. グループ事務局郵便番号(必須)	432-8002
15. グループ事務局所在地(必須)	静岡県浜松市中区富塚町2282-17
16. グループ事務局電話番号(必須)	053-476-1300
17. グループ事務局FAX番号(必須)	053-476-1313
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	sazuka@sosakujo.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	1	
II. 製材・集成材製造・合板製造	1	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	1	
IV. プレカット	1	
V. 設計	0	施工者が設計を兼ねるため
VI. 施工	6	
VII. 省エネルギー設備等の流通	1	
VIII. 木材を扱わない流通	1	
IX. I～VIII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	高知県産材	高知県	高知県CO2木づかい固定量認証制度	1	国内
	高知県産材	高知県	合法木材証明制度	3	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)				地域材加算合計	
	経験工務店 + 未経験工務店の合計	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	うち申請が確実	うち申請が未確定	
	18 戸	10 戸	8 戸	0 戸	8 戸	18 戸
		うち申請が確実	うち申請が未確定	0 戸	8 戸	0 戸
		うち申請が未確定		10 戸		18 戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計	0 戸	地域材加算合計	0 戸		
		うち申請が確実	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸		
		うち申請が未確定	地域材加算(うち申請が未確定)	0 戸		
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計	0 戸	地域材加算合計	0 戸		
		うち申請が確実	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸		
		うち申請が未確定	地域材加算(うち申請が未確定)	0 戸		
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物	うち申請が確実	0 棟	0 m ²		
		うち申請が未確定	2 棟	300 m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	各社の希望戸数を念頭に、採択数が下回った場合は抽選により配分する。				
--	-----------------------------------	--	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数	交付申請戸数	竣工済	竣工予定
	戸	戸	戸	戸
	木造建築物			
	採択棟数	棟	採択床面積	m ²

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) びおハウス	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 町の工務店ネット	(結成年) 2006年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	構造体の性能による安全性の確保と、夏季の日射遮蔽および冬期日射取得を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	住宅はスケルトン&インフィルを目指し、極力内部に耐力壁を設けないことで、生活様式の変化による長期の使用に耐え、永く地域に立ち続けるものをつくる。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	住宅は、断熱性能だけでなく、深い軒による夏季日射遮蔽と冬季日射取得による快適性を重視する。またCASBEE BEEランクA以上とし、環境性能を可視化する。 建築物は、水平ラインを強調した軒先と深い庇、パトレスや木製カーテンウォールによる表情を持たせる。	◎
④①～③の背景	エリアが各地に展開するため、特定地域におけるデザインではなく、全国で普遍的になる性能・様式を重視した。高知県の木材の強度と、平均含水率の低い乾燥材の実力を当事業を通じて各地に発信したい。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	ベースとなる住宅の柱・梁の共有化や構造ルールの共通化によって、合理化された住宅のシステムを提案する。	◎
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	グループによる共同の仕入れ交渉や特注品生産等を実施する。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	グループ内部および外部建築家からなる合理化委員会により、共通部材の整備を行う。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	各地の建物および生産現場の見学、検討会の企画・開催を担当する。	◎
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備		
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定		
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	ベースとなる住宅の標準プランによる相互の見積もり検討を行い、無駄のない見積もりルールを作成する。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	グループ共通で利用するパンフレット等、住まい手向けツールの整備を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) びおハウス	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 町の工務店ネット	(結成年) 2006年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	グループが提携・推奨する第三者機関にて履歴管理と点検通知を行う。 ○
	②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	グループの標準メンテナンスシートをベースに各社にて整備する。 ◎
	③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	グループ各社にて住まい手対象の住まいの管理勉強会を実施する。 ◎
	④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	維持管理検討委員会を設置、共通項目・手法を共有する。 ◎
b	①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	
	②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入		
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	建物実地での勉強会を開催し、可能な限り図面等の共有をはかり、未経験工務店のフォローアップを行う。 ◎
	②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	年3回程度、各地で実施。当グループ参加工務店だけでなく、町の工務店ネット参加工務店も対象とし、多数の参加を図る。 ◎
	③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	
	④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	
b	①省エネ技術講習会への参 加目標人数	
	②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	グループのメーリングリストにて参加促進を促す。 ◎
c	①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	建築家との協働によるプロトタイプ住宅の実作を通じて、設計手法をオーソライズする。 ◎
	②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	汎用型で低コストの空気集熱ソーラーシステムの導入・実測等を行う。 ○
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) びおハウス	(地域型住宅供給対象地域) 全国
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 町の工務店ネット	(結成年) 2006年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	主要構造材(柱・土台・梁・桁)に杉・桧を用いる。	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	10㎡以上、80%以上	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	平均含水率20%以下のJAS材を用いる。	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明		△
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	在庫、価格情報をメーリングリストにより周知する。	○
	②グループ全体における地域材の需給予測		
c	①-1 畳の活用		
	①-2 和瓦の活用		
	①-3 襖の活用		
	①-4 障子の活用		
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	室内には出来る限り地域資源の塗り壁や和紙を用い、調湿性能の実現をはかる。	○
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組		
	②地域の住まい方の継承につながる取組	その地域がどのような地域であったのかを学び、街並み形成のための縁を学ぶ勉強会を行う。	◎
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	街並み形成においては、建築物と同等以上に緑化による効果が大い。地域の在来種による植栽を行うことで、もともとそこにあった風景を再現し、街並みの形成・復活をはかる。	◎
	④和の住まいの要素を取入れた取組		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

【優良建築物】従来、鉄骨建築で行われていたような小規模の建築物をターゲットにした地域木造施設。
提案の住宅と同様に、強度の高い乾燥材を用いて、無垢材でも大きなスパンによる大空間を実現する仕組みを標準設計化する。
5Mスパンで約4Mの天井高さを実現し、6~10Mスパンも視野に改良を続ける。
構造材には強度の高い材を、残された強度の弱い材は内装に用いることで、生産された材の適材適所化を行う。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。